

平成27年度 学校法人平青学園 長野平青学園 学校自己評価及び学校関係者評価表

実施度:◎ 実施している。○ ほぼ実施している。△ 改善の必要がある。

項目	評価の観点	評価の項目	実施度	自己評価委員会評価コメント	学校関係者評価委員会の提言	学校自己評価運営委員会改善向上策
I 教育理念 教育目標 人材育成像	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念、教育目標、人材育成像等を明文化しているか。 ・上記において、職業教育機関として、専修教育に必要とされる考え方や指針、内容等が示されているか。 	1 教職員、学生等に対して教育理念等が明文化し、周知徹底を図っているか。	◎	ホームページ等を更に充実させ、理解しやすい文言での表記を心掛ける。	周知徹底を更に図り、高校・企業・社会に学校情報を発信するべきである。	学校関係者評価委員会の提言をもとに、教育方針・教育目標・教育活動・教育環境等全般について次年度に向けて改善を図る。ホームページ等でより分かりやすい情報発信の工夫をする。
		2 学校外に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。				
		3 社会、学習者のニーズに応えるため、定期的な点検、見直しを行っているか。				
II 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・目的等に沿った運営方針が策定されているか。 ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 ・事業計画に沿った運営方針が策定されているか。 ・運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか。 ・教育活動に関する情報公開が適切になされているか。 	1 理事会、評議員会が定期的開催されているか。	◎	必要な会議は定期的開催されている。学則・諸規定は毎年点検し、より適切な見直しを行っている。学校安全マニュアルを作成し、教職員の共有化を図り、学校安全を心掛ける。	定期的に学校関係者評価・学校自己評価運営委員会、教育課程編成委員会・教育課程編成運営委員会を開催し、その提言を学校運営に活かす。	定期的に開催し、学校の状況を把握していただき、提言を頂いている。その提言をもとに、学校関係者評価・学校自己評価運営委員会、教育課程編成運営委員会で見直しを図っていく。
		2 運営会議(教務会等)が定期的開催されているか。				
		3 学校評議員会を定期的実施しているか。				
		4 学則、諸規定が整備され、点検・見直しが行われているか。				
		5 学校安全保健計画が作成されているか。				

III	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。 ・教育理念、人材育成像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。 ・学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。 <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。 ・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。 ・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。 ・授業評価の実施・評価体制は整備されているか。 ・職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。 ・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。 <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。 ・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。 ・関連分野における業界との連携において優れた教員を確保しているか。 ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上の取組みが行われているか。 	1	育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。	◎	<p>各科の会議、編成委員会等で次年度、次々年度に向けての有効なカリキュラムの検討が加えられ、毎年、見直しがなされている。その検討には、学生アンケート、教育課程編成委員会の提言、その他関係企業・医療施設からの意見等が勘案されている。特に次年度は、教育課程編成委員会からの提言に基づき、関係企業との連携を更に深めるとともに、学科名の変更とそれに伴う教育課程の変更を予定している。</p> <p>また、専門科目にとどまらず、コミュニケーション能力の育成・キャリアデザインなど社会人として必要なカリキュラムも毎年検討を加える。</p>	<p>関係企業との連携を更に深め、協力企業を増やし、学生・教員の資質向上に役立てるとともに、企業の求める人材の育成を行う。</p>	<p>教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会において、教育方針・教育目標・教育活動・教育環境等について提言をいただき、次年度に向けて改善を図る。また、関係企業との連携(実習等)については、さらに関連協力企業を増やし、学生の要望に応じていくとともに、関連企業との連携をさらに深める。また、毎年実施している学生授業アンケートを継続し、授業改善に努めていく。教職員の資質向上のため、外部研修への参加を積極的に支援するとともに、学内研修を実施し共通認識を持つ。</p> <p>・「職業実践専門課程」認定、「専門実践教育訓練制度講座」の指定により、より充実した教育内容の実践を図る。</p>
			2	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。				
			3	カリキュラム作成メンバーの中に、業界関係者・高校関係者などの外部関係者を入れ、その意見を取り入れているか。				
			4	シラバスあるいは講義要項が作成され、事前に学生に提示されているか。				
			5	学生によるアンケート授業評価が定期的に行われているか。				
			6	その結果に基づき、教員面接・授業参観・研修を実施しているか。				
			7	企業・施設等での職場実習・企業実習を実施しているか。				
			8	キャリア教育の充実に向けたカリキュラムが設定されているか。				
			9	コミュニケーション能力の向上に向けたカリキュラムが設定されているか。				
			10	成績評価・単位認定基準が明文化され、学生に周知徹底が図られているか。				
			11	企業・地域・行政との連携を図っているか。(産学連携等)				
			12	専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のための内部研修を行っているか。				
			13	専門性や指導力等の維持や向上のための外部研修への派遣、自己啓発への時間的・財政的な支援を行っているか。				

IV	学修の成果 教育効果	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上が図られているか。 ・資格取得率の向上が図られているか。 ・退学率の低減が図られているか。 ・卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。 	1	学生の就職に関する目標を設定し、その目標が教職員に共有されているか。	◎	<p>就職率について達成月の期間を定めている。目標が設けられており、その目標達成のために、毎週の教務会で進捗状況を把握し、課題がある時は、必要な施策が図られている。今年度は、その成果が顕著に表れており、次年度以降も継続を図っていく。</p> <p>資格・コンペに関しては年度当初に授業計画で目標を明示し、学生のモチベーション維持に心掛けている。</p>	<p>教育課程の改善・資格取得を進め、就職状況が好転するよう努める。</p>	<p>毎年の就職状況・資格取得状況は、パンフレット・HP等で公表しているが、教育課程編成運営委員会を中心に、さらに学修成果が向上するよう、教育課程の改善・資格取得に努め、就職状況改善につなげていく。現在、アクティブラーニング(AL)が注目されている。学修成果を高めるためにその授業方法を研究し、導入を図る。</p>
			2	学生の就職結果に関して検証、報告を行ったか。				
			3	外部に向け就職実績を公表しているか。(パンフレット・HP等)				
			4	資格・検定・コンペに関する目標を設定し、目標・計画が教職員に共有されているか。				
			5	資格・検定・コンペの結果を公表しているか。				
			6	卒業率の目標を設定し、その目標が教職員に共有されているか。				
V	学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進路、就職に関する支援体制は整備されているか。 ・学生相談に関する体制は整備されているか。 ・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ・学生の生活環境への支援は行われているか。 ・保護者と適切に連携しているか。 ・卒業生への支援体制はあるか。 ・関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか。 ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。 ・高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか。 	1	担任、担当者による進路・就職相談を実施しているか。	◎	<p>キャリアカウンセラー資格取得者4名、キャリアサポーター資格取得者2名。教員の約3分の1がキャリアに関しての理解を持ち、個々の学生の相談にあたっている。また、キャリアに関する学内研修を開き、他の職員にも共通の理解を求めている。</p> <p>近年問題を抱える学生が増加しており、メンタルヘルスでは専門家を含めた対応・出身高校との連携を図っている。専任の就職先開拓担当者がおり、就職先企業の開拓と、卒業生の状況を把握しているが、退学者に関しての状況が一部把握できていない部分がある。</p>	<p>求人が増加傾向にある。学生と企業のミスマッチが起きないよう相談体制を強化する。また、学生のメンタルヘルスでは専門家を含めた対応を図る。</p>	<p>就職担当指導員を置き、求人開拓・相談体制を整えている。学生・保護者の要望に応えられるよう、さらに、進路・就職指導体制を充実させる。また、メンタルヘルスについては、学内研修会を行い、全職員が対応できるようにするとともに、学内相談体制を整えていく。</p>
			2	学生指導に関する教職員の相談に応じる体制が取られているか。				
			3	学生の健康管理・メンタルヘルスについて相談できる担当者があるか。				
			4	定期的に健康診断を実施しているか。				
			5	奨学金制度等の経済的支援制度があるか。				
			6	保護者会、保護者懇談会等を定期的に開催し、保護者との連携を取っているか。				
			7	求人開拓のための活動を行っているか。				
			8	卒業生の就職先への訪問を実施し、サポート体制を取っているか。				
			9	高校等との連携によるキャリア教育・職業教育を実施しているか。				

VI	教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。 ・学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか。 ・防災に対する体制は整備されているか。 	1	普通教室、実習室等施設・設備が整備されているか。	◎	必要な施設・設備が設置されているが、更に学生アンケートの要望を精査し、環境整備を進めていく。	学生・保護者の要望聞き、教育環境を整える。	毎年実施している学生アンケートの要望事項を精査し、教育環境を整えていく。
			2	施設・設備の保守管理が定期的に行われているか。				
			3	学内の整理、整頓、清掃に関して定期的に管理・チェックされているか。				
			4	図書室、図書コーナー等が設置され、適切に運用されているか。				
			5	年間スケジュールが作成され、学生に提示され周知されているか。				
			6	防災・防犯・非常時の対応マニュアルが作成され、徹底を図っているか。				
			7	危機管理マニュアルが作成され、徹底を図っているか。				

VII	学生募集	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか。 ・学生募集活動は、適正に行われているか。 ・学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか。 ・学生納付金は妥当なものとなっているか。 	1	学校案内等には育成人材像が明示されているか。	◎	学校案内は毎年内容について見直しを図られ、志望学生のみならず、関係企業等にとって有効な情報を網羅している。高校生の減少にともない、社会人の再学習にも目を向ける必要がある。(3名の社会人が入学予定。)	少子化のため、学生数の減少がゆがめないが、社会人の再学習を含め、募集の工夫を図る。	教育課程編成委員会の提言を踏まえ、学校の特徴(職業実践専門課程の認定・専門実践教育訓練制度講座の指定)を前面に出し広報活動を積極的に行う。本年度、特待生推薦入試制度を導入したが、学習面での効果が認められるので、次年度以降も継続する。
			2	学校案内等には資格取得・就職状況が正確に記載されているか。				
			3	学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。				
			4	学校案内等には選抜方法が明示されているか。				
VIII	財務	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。 ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 ・財務について会計監査が適正に行われているか。 財務情報公開の体制整備はできているか。	1	年度予算、中期計画が策定されているか。	◎	財務については、専任の担当者があり、適正かつ正確に処理されている。	適切な処理を心掛ける。	定期的に開催されている評議員会・役員会・理事会において、予算執行等について精査し、健全な財務体制を維持する。
			2	予算の執行状況を定期的に確認しているか。				
			3	会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか。				
			4	会計監査(月次決算書等)の結果が文書等で明確化されているか。				
			5	私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか。				
IX	法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 ・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 ・自己評価結果を公開しているか。 	1	個人情報保護規程・ハラスメント規程が整備され、学生・保護者・教職員に周知されているか。	◎	組織内のチェック体制は整備されているが、更に専門家等の助言・研修を行っていきたい。自己評価からの改善・公表はなされている。	社会の目は厳しさを増している。法令遵守については、全職員に徹底する。	法令遵守については、学内研修会を継続して行い、全職員への徹底を図る。
			2	組織内の体制整備・点検が行われているか。				
			3	自己評価結果の問題点の改善する取組がなされているか。				
			4	自己評価結果を公表しているか。				

X	社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。 地域に対する公開講座、教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか。 	1	社会貢献・地域貢献を目的とした公開講座を開設しているか。	◎	<p>高校、各種団体等において当学園講師による出張講義が行われている。特にキャリアデザイン・コミュニケーション等の講座要望が多いので今後も進めていく。教育訓練は毎年1ないし2講座受託をしている。</p>	<p>学生のボランティア活動への参加を積極的に進め、支援・協力して欲しい。また、地域の公開講座・教育訓練は積極的に行って欲しい。</p>	<p>地域貢献の立場から、学生のボランティア活動への参加をより積極的に支援・協力する。また、地域の公開講座・教育訓練には積極的に関わる体制をさらに進める。</p>
			2	教育資源(施設・設備の開放、教職員の出張講座等)を地域に提供しているか。				
			3	学生の社会的活動(地域活動・地域貢献・ボランティア活動等)を評価・単位認定しているか。				
			4	教育訓練の受託を行っているか。				
XI	国際交流	<ul style="list-style-type: none"> 留学生の受け入れを行い、国際交流を行っているか。 受け入れ等について適切な手続き等がなされているか。 学修成果が国内外で評価される取組を行っているか。 学内での適切な体制が整備されているか。 	1	留学生受け入れのための体制が整備され、適切に手続きがなされているか。	◎	<p>日本語科に現在約60名、その他の学科に10名前後の留学生を受け入れている。学生間の交流を図るとともに、専任の生活指導員による相談・指導・管理が適切にされている。また、台湾からの高校生・シンガポールからの大学生を受け入れ国際交流を行った。今後も積極的に受け入れていきたい。</p>	<p>留学生一人ひとりに目を向け、学習の成果が得られるよう取り組む。</p>	<p>多くの留学生が在籍しているが、在籍管理・生活指導・進路指導を含め、留学生に寄り添う指導体制を構築し、よりの確な指導を行う。</p>
			2	留学生数、在籍管理状況を的確に把握しているか。				
			3	留学生への相談体制等が整備されているか。				